

令和7年度 第2回「富富富」戦略推進会議

会議資料

【要点】

■設置要領第6条5項に基づき、資料1及び2のとおり生産者登録状況をご報告します。

令和8年産の栽培面積は、前年より570ha増え、3,379haとなります。

なお、上記につきましては、2月25日（水）付けで公表いたしましたので申し添えます。

■令和7年度「富富富」の販売・PRの取組み状況について、資料3のとおりご報告します。

→資料2及び3につきまして、今年度新規で実施した点や、前年より変更または集中して取り組んだ点など、黄マーカーを付しております。

□生産者をはじめ、関係機関、団体のみなさまと一体となり、今後の面積拡大をさらに加速させることが重要と考えております。

□委員のみなさまより、報告内容に関わらず、「富富富」の生産拡大に向けた忌憚のないご意見・ご提案をいただけますと幸いです。

令和 7 年産「富富富」の生産状況について

農産食品課

	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
栽培面積 (ha)	518	1,113	1,282	1,392	1,445	1,640	2,355	2,809
検査数量 (トン)	2,548	5,391	6,480	6,589	7,022	7,628	10,658	11,333※
経営体数	469	676	654	649	604	613	783	844
平均面積 (ha/経営体)	1.1	1.65	1.96	2.14	2.39	2.67	3.01	3.33
1等比率 (%)	98.8	90.9	96.4	96.3	95.6	93.5	96.8	95.8※
(参考) コシヒカリ 1等比率	88.5	84.7	90.9	95.1	87	50.6	90.7	85.3※

※R7の1等比率、検査数量は、令和7年12月末現在の速報値

精玄米重	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
富富富	541	517	580	517	524	543	541	540
コシヒカリ	553	543	564	531	573	522	531	567

※生育観測ほ等展示ほ精玄米重 (kg/10a)

令和 8 年産「富富富」生産者の登録等について

1 「富富富」生産者登録部会の設置について

- ・「富富富」戦略推進会議設置要領の改正（令和 7 年 8 月 5 日施行）において、「富富富」生産者登録検討部会を「富富富」生産者登録部会に変更し、本部会議において、「生産者を登録」することを明確化（設置要領参照）。

2 令和 8 年産「富富富」の生産者募集について

(1) 生産者募集について

①募集期間：当初…令和 7 年 10 月 1 日（水）～令和 7 年 12 月 22 日（月）

追加※…令和 7 年 12 月 23 日（火）～令和 8 年 1 月 30 日（金）

※令和 8 年産米の生産目標に係る、富富富等への上乗せ新規枠の創設に伴い追加募集期間を設定

②募集方法等：

- ・令和 8 年産から湛水直播栽培、非主食用米の取り組みを可能とし、対象を拡大
- ・生産拡大に向け、イベントや広報活動等により生産拡大を推進
- ・地域協議会（JA 等）において、募集チラシの配布、説明会の開催や個別巡回等により、生産者登録要件や流通基準等を周知
- ・生産者が申請し、地域協議会が内容を確認して事務局に提出

(2) 応募状況について

- ・協議会別応募状況は、別紙のとおり

申請者数（経営体数）	897 (53 増)	密苗：約 1,018ha 乾田V溝直播栽培：約 141ha（26 経営体） 湛水直播：約 106ha（30 経営体） 非主食用米：取組件数 83 経営体
申請面積（ha）	3,379 (570 増)	

(参考)「富富富」栽培面積の推移

	H30年産	R元年産	R2年産	R3年産	R4年産	R5年産	R6年産	R7年産	R8年産※
生産者（経営体）	469	676	654	649	604	613	783	844	897
作付面積（ha）	518	1,113	1,282	1,392	1,445	1,640	2,355	2,809	3,379
1経営体あたり面積 (ha/経営体)	1.10	1.65	1.96	2.14	2.39	2.67	3.01	3.33	3.77

※R8年産は登録時点の値、H30～R7年産は確定値

令和8年産「富富富」申請状況(協議会別)

2026/2/18

	協議会	令和8年産		令和7年産実績		増減(R8-R7)	
		登録申請者数	見込面積(ha)	登録者数	面積(ha)	登録者数	面積(ha)
1	JAみな穂「富富富」ブランド化推進協議会	106	864	97	681	9	183
2	黒部「富富富」ブランド化推進協議会	43	203	39	150	4	52
3	JAうおづ「富富富」ブランド化推進協議会	65	195	60	177	5	18
4	JAアルプス「富富富」ブランド化推進協議会	172	580	166	497	6	83
5	JAあおば「富富富」ブランド化推進協議会	70	202	68	194	2	9
6	JA富山市『富富富』ブランド化推進協議会	114	202	105	175	9	28
7	JAなのはな『富富富』ブランド化推進協議会	55	165	49	145	6	20
8	射水市「富富富」ブランド化推進協議会	17	113	19	100	△ 2	12
9	高岡市農業技術者協議会	62	110	50	77	12	33
10	氷見市「富富富」ブランド化推進協議会	43	169	38	120	5	49
11	いなば農業技術者協議会	82	387	79	324	3	63
12	JAとなみ野「富富富」ブランド化推進協議会	61	173	69	163	△ 8	11
13	なんと特別栽培米生産組合	2	4	2	4	0	0
14	福光農業改良協議会	5	12	3	2	2	9
	合計	897	3,379	844	2,809	53	570

令和7年度「富富富」の販売・PRの取組み状況について

市場戦略推進課

「富富富」の生産拡大を進める中、第三期戦略に基づき、中食・外食用の需要拡大を図りつつ、若い世代を中心に家庭用需要を拡大させ、県内・全国での浸透を図っていく。県内外の消費者のリピート購入、ファン獲得につながるよう、情報発信ツール等を活用したPRや、キャンペーン活動、実需者の販売活動支援などを展開する。特に、「寿司といえば、富山」や「富山マラソン」など、他の事業と連携したPRを通し、美味しさとともに、「富富富」が身近であると感じることが出来る取組みを実施。

1. 令和7年度の販売・PRについて（主なもの）

(1) 富富富ナビゲーター

イベントやメディアを通じて富富富の魅力発信に協力いただいた。

- ・池田航さん（南砺市出身の俳優。ナビゲーター3年目。）
- ・登坂絵莉さん（高岡市出身のレスリング金メダリスト。今年度ナビゲーター就任。）

→イベントへの参加、レシピ考案、レシピコンテストの審査、各種動画への出演 等



R7 メインビジュアル

(2) 富富富レシピコンテスト（主に県内対象）

【募集期間～9月14日まで、優秀作品の表彰10月26日】

令和6年度から開始2年目。「富富富」を使用した消費者参加型の料理レシピコンテストを開催。入賞作品の表彰や、料理実演はとやまグルメ・フードフェス2025内での実施。おにぎりやお弁当などの「わが家コース」、「寿司といえば、富山」プロジェクトとの連動を図った「すしコース」の2つのコースで募集。



表彰作品一例



表彰式(10/26)



募集ポスター

【実績】

コース		応募件数	表彰者数
1	わが家コース	104 (R6: 57)	最優秀賞1、優秀賞2、池田さん賞2、登坂さん賞1
2	すしコース	27 (R6: 22)	最優秀賞1、優秀賞2、池田さん賞1、登坂さん賞1
計		131 (R6: 84※) ※飲食店コース5件含む	11

(3) 各種メディアでの放送

① テレビ関連 (CM、ミニ番組放映)

料理レシピコンテストの入賞作品や、富富富ナビゲーター考案レシピを池田航氏が調理する動画にコンテンツ化。ミニ番組 (全8回) での放送やWebサイトでも積極的に配信中。



② CM、SNS用の作成動画

- ・池田航氏考案レシピ動画 (1本)
- ・登坂絵莉氏考案レシピ動画 (2本)
- ・レシピコンテスト受賞作 (11本)
- ・「富富富」生産農家動画 (3本)
- ・「寿司といえば、富山」連動PR動画 (2本)
- ・R7版給食動画 (1本)
- ・CM用新米時期動画 (5本)



笑顔ひろがる、毎日「ふふふ」。



動画掲載 YouTube チャンネル



給食動画 (～R8.10 まで公開)

【実績】

- ・富富富 (新米時期) PR
 - 県内CM (10月2日～11月16日)
 - KNB50本
 - 県外CM (11月1日～11月30日)
 - 中京テレビ 16本、東海テレビ 20本、名古屋テレビ 23本
 - 新聞広告 (10月1日)
 - 北日本新聞、富山新聞 各テレビ面 全5段カラー
 - SNS広告 (10月15日～11月15日)
 - Youtube、Instagram (県内・中京地区・大阪府)
 - 県外CM (2月1日～2月28日)
 - 中京テレビ、東海テレビ、名古屋テレビにて、TVCM第2弾出稿
- ・2のつく日 (10月11日～1月22日) 4か月 (毎月 新聞2紙×3回+テレビCM 7本前後)
 - 新聞広告 北日本・富山新聞 テレビ面小枠 (毎月2日・12日・22日の3回)
 - テレビCM 1～2日/11～12日/21日～22日の3回で毎回 約7本
 - (10月はKNB 16本、11月はTUT 22本、12月はBBT 23本、1月はTUT 20本)
 - SNS広告 1～2日/11～12日/21日～22日の期間でLINE、META/Instagram(富山県内)

・他メディア

— 文芸春秋社 『CREA』2026年冬号（12月5日発売） 掲載

特集内容：贈りもののバイブル

「今年いちばん喜ばれる贈りもの。ブランド米とごはんのとも」



(4) SNSを活用したPR

① SNS広告、各種イベントやフェアの情報掲載

② 料理レシピ・トレンドを発信する「おうちごはん」とタイアップしたPR（県外対象）

Instagram 投稿キャンペーン「おうちごはん（消費者参加型PR）」【10月～12月】

参加者を募集し、当選者へは「富富富」2kg 等を送付し、「富富富」を活用したアレンジレシピ等を投稿してもらう。投稿によって「富富富」について広く発信してもらうと同時に、投稿者にも「富富富」のおいしさを体験してもらうキャンペーン。



【実績】

富富富サンプリング応募数：462 件

指定ハッシュタグ*投稿数：96 投稿

投稿者の総フォロワー数：1,518,039 名

※指定ハッシュタグ：「#ふふふで笑顔」「#富山のふふふ」「#おうちごはんキャンペーン」

(5) 富富富認知度調査

地域別（県内、首都圏、中京、関西）の富富富の浸透を調査し、効果的・効率的な広報宣伝を実施。

→調査結果を受け、認知度に対し既購入者が少ない中京地区に対し重点的にPRを行う方針とした。（TVCMの放映など）

【実績】

調査対象	Q1 認知度	Q2 ロゴ認知度	Q3-1購入あり
関東	15.5%	20.3%	20.6%
近畿（関西）	13.7%	17.9%	18.0%
中京	19.8%	25.0%	14.1%
富山県	92.6%	93.9%	23.5%

- 調査対象: 関東・近畿（関西）・東海（中京）の三大都市圏と富山県の20～60代男女。
サンプル数: 関東 3,000 名、近畿 1,500 名、中京 1,500 名、富山県 500 名。
- 調査目的: 富山県のお米「富富富」の認知度を把握し、今後のPR計画の参考にする。
- 調査方法: インターネットアンケート調査。
- 調査期間: 2025年5月30日～6月4日。
- 調査機関: 株式会社ビデオリサーチ

2. 富富富のPRイベント等について（主なもの）

《 県内 》

（1）令和7年産「富富富」出荷式 【10月1日（水）】

生産者・流通関係者出席のもと、新米「富富富」の出荷式を実施 【主催：全農富山県本部】



（2）「富富富」飲食店フェア

【10月4日（土）～11月3日（月）】

- 「美味しい富山米の店」や「富山湾寿司」提供店等と連携した「富富富」を使用したメニューの提供・PRを実施。

・キックオフイベント 【10月10日（金）】

会場：歩寿司 本家

（富山市北新町 1-2-29）

参加者：池田航氏

【実績】参加店舗：116店舗（県内 61 うち寿司店 10、県外 55）

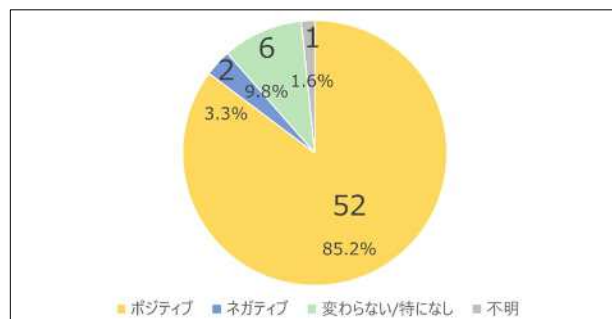
（R6 参加店舗：77 店舗（県内 42、県外 35））



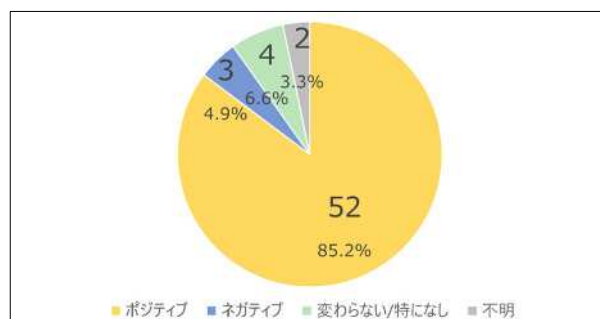
【フェア開催後アンケート結果（抜粋）】

- ・「富富富」の食味やお客さまからの反応については、県内外共に 80%以上がポジティブな評価
→「今年さらにおいしくなっている」「あまい」「もっちり」「時間がたってもおいしい」
→カレー、ピラフ、チャーハンなど、白米だけでなく、いろんな料理に合うという評価も多い

＜「富富富」の食味について（県内）＞



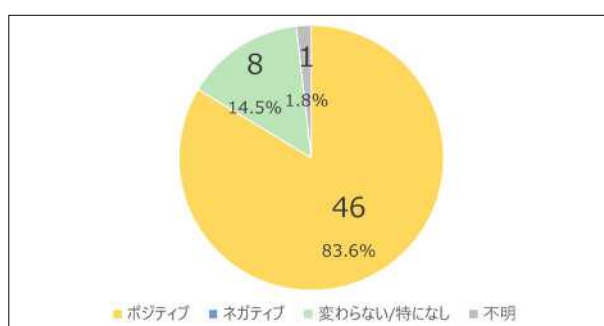
＜お客様からの反応（県内）＞



＜「富富富」の食味について（県外）＞



＜お客様からの反応（県外）＞

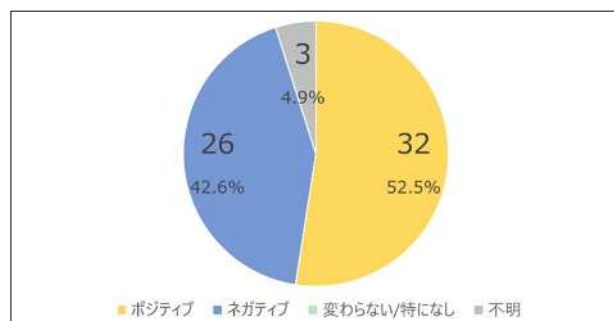


- ・今後「富富富」を使用するかについては、ポジティブの割合が下がり、県内では半数、県外では 30%程度となった。

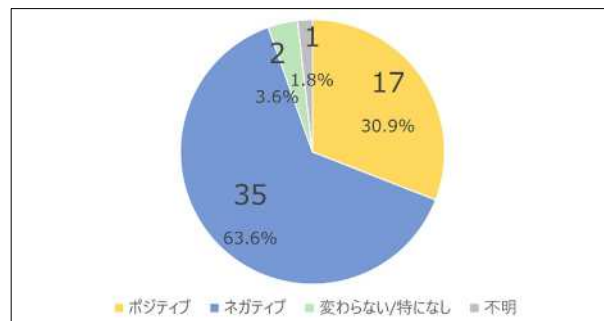
→「価格が高い」「購入できる店舗がない」といった意見が大半

- 特に県外では、「使いたいのが現在の取引先との関係優先」が多く、使用するお米は現状維持の事業者が多い

＜今後の使用について（県内）＞



＜今後の使用について（県外）＞



- ・本フェアに関するご意見

開催時期の変更や、PR の工夫について挙げられていた

「富富富」を「知る」「食べる」きっかけとなった

等

(3) 購入促進キャンペーン 【12月1日～2月22日】

- ・富富富を購入し、地産地消アプリ「食ベトクとやま」アプリでポイントを集め応募すると、抽選で富富富をプレゼントするキャンペーンを実施。

(4) とやまグルメ・フードフェス 2025 でのPR 【10月25日（土）、26日（日）】

- ・富富富料理レシピコンテスト表彰式、優秀作品の料理実演・試食
- ・富富富ナビゲーター（池田航氏、登坂絵莉氏）によるトークショー
- ・富富富ブースの出展
- ・同日開催の全麵協イベント会場でも富富富ブースを出展し、来場者へおにぎりを無料配布



レシピコンテスト表彰式



全麵協会会場でのおにぎり配布

(5) 県内スポーツイベントでのPR

①Enjoy! スポーツ 【9月23日（火）】

- ・ブース出展し、来場者へ富山米「てんたかく」のおにぎりを無料配布



②「富山マラソン」(第10回記念大会)

【EXPO 11月1日(土)】

会場：高岡テクノドーム

- ・食ベトクアプリダウンロード者に富富富パックごはんを先着100名でプレゼント
- ・大会当日のゴールでの富富富おにぎり配布を周知



【当日 11月2日(日)】

会場：マラソンゴール地点及びブルーバール

- ・県内外の人が多く集まる富山マラソンの場で、「富富富」おにぎり3万個(塩むすびと梅)をランナー全員(ゴール直後)、来場者(出展ブース)等に配布。(1セット2種各1個入り)(ランナー14,000セット、来場者1,000セット)
- ・おにぎり作成協力：株式会社アルビス
- ・富山マラソン側からも「富富富おにぎり配布」をPR



(6)「2のつく日はみんなで『富富富』PR【10月～2月】

「2のつく日はみんなで『富富富』」として「富富富」を広く県民へ周知することで、興味・関心と購買意欲向上を目的とする。

- ・10月(12日)から1月までの毎月「2日・12日・22日」の2のつく日に、テレビCMや新聞広告、SNS広告を掲載
- ・「2のつく日」にレシピ動画等を特設サイトへアップ
- ・毎月22日に食品スーパーの駐車場や店頭キッチンカーを設置し、炊きたての「富富富」おにぎりを提供。
- ・2月22日は南砺福野高等学校・全農富山県本部による取組み(高校生が栽培した「富富富」精米の店頭販売)とタイアップし、来場者へ「富富富」おにぎりを試食提供。

【「2のつく日」レシピ動画公開実績】

	2日	12日	22日
10月	—	炊き込みご飯	チキンドリア
11月	パエリア	黒づくりのリゾット	こづくらの寿司
12月	富山湾の香り漂うスティックのり弁	みんな大好きおにぎり	富富富ポテト
1月	簡単「富富富」ふ丼	りんご入りガバオライス	氷見牛すきのサクサクとまとイナリ寿司
2月	南砺の恵み「富富富」と赤かぶの茶巾寿司	栄養・彩り満点!富山尽くしの生春巻き風	高岡御車山寿司

【22日 おにぎり配布 実施実績】

配布日	会場①	内容	会場②	内容
10月22日（水）	アルビス 羽根店	塩むすび約150個	アルビス 大島店	塩むすび約150個
11月21日（金）	アルビス 黒部店	塩むすび約150個	アルビス 水橋ミュージズ店	塩むすび約150個
12月22日（月）	アルビス 氷見店	塩むすび約150個	アルビス 大広田店	塩むすび約150個
1月30日（金） ※大雪予報により 2月13日（金）に 変更	アルビス 太閤山店	塩むすび約150個	アルビス 奥田店	塩むすび約150個
2月22日（日）	イオンモール となみ店	南砺福野高校生の 店頭販売とタイ アップし、同 会場にて「富富 富」おにぎりを 無料配布		



(7) 「寿司といえば、富山」との連動PR

県内の親子等を対象に「寿司といえば、富山」体験モニターを募集。「富富富」を使用する寿司店での飲食や、ます寿しづくりの体験などは、動画コンテンツとして製作・配信。

(8) 学校給食でのPR

① 学校給食富富富提供支援事業

小中学校の米飯給食で「富富富」提供を支援

(事業実施主体：JA富山県中央会)

令和4年度から通年で実施。給食使用量のほぼ全量

(R6実績：979ト)

② 給食教育用動画、富富富マガジンの配布

「富富富」や富山県の米づくりを深く知り、好きになって、もっと食べてもらうことを目的に、給食用動画の学校への配布や令和7年度版富富富マガジンの全児童生徒へ配布。



《 県外 》

(1) 有楽町駅前広場での「富山フェア」【10月4日(土)】 [主催：全農富山県本部]

・「富富富」をはじめとする富山米や農産物等をPR販売。

(2) 日本橋とやま館「富富富新米フェア」【10月3日(金)～10月15日(水)】

・パネル、ポスター等の展示、テレビCM・PR動画の放映

・新米発売記念 富富富ナビゲーター(池田航氏、登坂絵莉氏)との販売イベントの開催(10月4日(土))



(3) 「富富富」飲食店フェア 【10月4日(土)～11月3日(月)】

・県内飲食店と同様に県外飲食店でも「富富富」を使用したメニューの提供・PRを実施。

・横浜中華街ともコラボし、16店舗が参加。

・キックオフイベント【10月4日(土)】

会場：東京赤坂かさね

(東京都港区赤坂6-16-11 浜ビルB1)

参加者：池田航氏 及び 登坂絵莉氏

【実績】 参加店舗：116 店舗（県内 61、県外 55）※県外に横浜中華街 16 店舗含む
（R6 参加店舗：77 店舗（県内 42、県外 35））



（４）量販店等でのPR

- ・ 県外のスーパーなど小売店において、全農富山県本部等と連携した試食販売等のプロモーションの企画、実施。

- ・ 首都圏・・・イオンレイクタウン（埼玉）

期間：12月11日（木）～14日（日）

- ・ 関西圏・・・HOKURIKU+（大阪）

期間：10月29日（水）～11月11日（火）

うち食べ比べイベント 11月8日（土）及び9（日）

- ・ 中京圏・・・アピタユニー（名古屋）

期間：2月28日（土）、3月1日（日）



3 PRツール等の制作

（１）「富富富」マガジンの制作

県内の小中学生に配布用として制作。内容は「富富富」についての他、レシピコンテスト受賞作品を掲載し、より県内の児童生徒が「富富富」への理解を深めてもらえるようレシピ動画のQRコードを入れ、家庭でも気軽に調理できるよう、活用面も工夫。

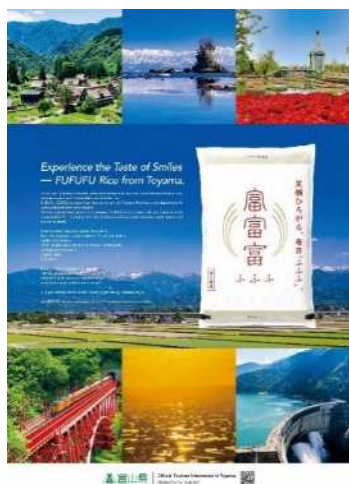
(2) PR資材作成

新キャッチコピー「笑顔ひろがる、毎日『ふふふ』。」をベースに各種PR資材を作成。

また、海外展開やインバウンドへの対応として、英語版タペストリーも作成。

【作成販促物】

- ・メインビジュアル
- ・のぼり
- ・卓上ミニのぼり
- ・法被（2種 白、金）
- ・エプロン（2種 赤、黄）
- ・テーブルクロス
- ・英語版タペストリー



海外向けポスター

新キャッチコピー入り米袋

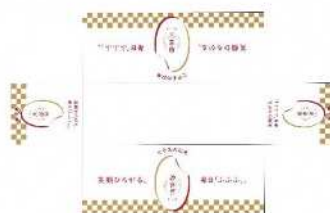


法被（金）

法被（白）



エプロン



テーブルクロス

令和8年度「富富富」関係事業等について

R8年度 富山米ブランド力向上対策事業の概要

市場戦略推進課

県内外の「富富富」など富山米のファン獲得に向け、情報発信ツールを活用した発信、実需者の販売活動支援、生産者団体と連携した販売促進活動、各種イベント等でのPRを実施する。

1 富富富戦略推進事業**(1)「富富富」PR 事業**

「寿司といえば、富山」プロジェクトと連携し、富富富の特長・魅力をPR

- ・スポーツイベント(NPB オールスター等)での富富富の PR
- ・生産者や生産者団体等と連携したPR販売
- ・広告宣伝(TVCM、SNS など多様なツールを活用)
- ・飲食店での「富富富」フェア
- ・富富富商品プロモーション支援

(2)購入促進(デジタル)キャンペーン

期間:効果的な時期に1～2か月程度実施

内容:食ベトクアプリでポイントを貯めて、応募、抽選で「富富富」をプレゼント

(3) 富富富の米飯給食

若い世代に富富富に親しんでもらうため、県内小中学校等給食で通年提供
(JA 中央会への補助、コシヒカリとの差額を助成、補助率 1/2、年間 1,000t)

2 富山米ブランド力向上対策事業

富山米(コシヒカリ、富富富、てんたかく、てんこもりなど富山米全般)のブランド力向上のための取組みを支援(全農富山県本部への補助、補助率 1/3)

「富富富」生産振興対策事業費 (91,100 千円)

農産食品課

1 「富富富」地域協議会支援事業 (6,700 千円)

(1) 県事業 (2,200 千円)

「富富富」地域協議会の活動を支援する。

(2) 地域協議会 (4,500 千円)

「富富富」地域協議会における生産者登録制度に係る申請・確認事務、生産・出荷体制の確立や食味・収量向上等のための活動を支援する。

2 「富富富」種子生産加速化支援事業 (2,000 千円)

種子の増産等のための経費(漏生対策等)及び病虫害発生防止対策経費を支援する。

3 温暖化に対応した米産地転換促進支援事業 (12,400 千円)

(1) 「富富富」モデル産地育成支援事業 (4,000 千円)

新たな技術、栽培体系の導入・確立や、需要創出に関する取組について生産面から支援する。

○事業費：4,000 千円＝1,000 千円/協議会×4 協議会+県推進費 1,000 千円

○事業実施主体：各地域「富富富」ブランド化推進協議会

(2) 「富富富」生産拡大加速化支援事業 (8,400 千円)

温暖化に対応した米生産への計画 (R8, 9, 10 の3ヶ年分)を策定し、富富富の面積を3ha以上拡大する経営体に対し、「コシヒカリ」から富富富への切替えを支援する。

拡大面積	基礎交付額	新規栽培加算 高率転換加算	合計 (上限額)	(参考)10a当たり 換算支援水準
5ha以上	8万円	2万円	10万円	1,600～2,000円
3ha以上	4万円	1万円	5万円	1,333～1,666円
3ha未満	対象外			

4 「富富富」生産拡大乾燥調製施設整備支援事業 (70,000 千円)

「富富富」の生産拡大に必要な水稻の乾燥調製(貯蔵)施設の改修等を支援する。

○事業実施主体：担い手生産者、JA等

○要件等：

要件 (「富富富」拡大面積※)	県費上限	補助対象
3ha	1,000千円	水稻の乾燥調製(貯蔵)施設の乾燥調製能力・機能の向上、荷受けラインの複線化、ライン清掃の簡便化等
7.5ha	2,500千円	
15ha	5,000千円	
30ha	10,000千円	
45ha	15,000千円	

※事業実施翌々年度の成果目標。達成状況等の報告(毎年度)が必要。

○補助率：1/2(県1/3、市町村1/6)

(一社)日本育種学会の学会賞の受賞について (報告)

農林水産総合技術センター農業研究所の水稻品種「富富富」育成グループが、日本育種学会賞を受賞しましたのでご報告いたします。今後、授賞式の前に県から報道発表を予定しています。

1 日本育種学会と賞の概要

- ・本学会は、育種に関する研究及び技術の進歩などを図ることを目的とし、1951 年(昭和 26 年)に創立され、現在、大学・国の研究者等、約 1,600 名の会員で組織されている伝統ある学会であり、これまでに食用作物、園芸作物、工芸作物などの新品種の開発を促進することで社会に貢献している全国組織です。
- ・本学会賞は、個人またはグループによる優れた学術的あるいは技術的業績に対して贈呈されるものであり、過去 72 年間に 162 名・グループが受賞しています(水稻品種では、古くは「コシヒカリ」石墨慶一郎氏、近年では、「つや姫」などの育成グループが受賞)。

2 受賞の概要

(1) 受賞者 水稻品種「富富富」育成グループ

(代表者：農林水産総合技術センター 農業研究所 副所長 小島 洋一郎)

(2) 受賞題目 遺伝子ピラミディング技術を活用した高温登熟耐性水稻品種「富富富」の育成

(3) 受賞理由

- ・近年、猛暑下で深刻化する玄米品質の低下に対し、DNA マーカー選抜により複数の遺伝子を戦略的に集積(ピラミディング)し、コシヒカリの遺伝背景を保ちつつ登熟期の高温耐性・耐倒伏性・いもち病抵抗性を強化した水稻品種「富富富」を育成した。
- ・2018 年の一般栽培開始以降、栽培面積は 518ha から幾度の猛暑年を経て普及が加速し、2025 年には 2,809ha まで拡大しており、複数の有用な遺伝子を戦略的に集積した初の普及品種として、水稻育種の新機軸とその波及効果を提示した卓越した事例である。
- ・さらに、「富富富」の親系統である高温耐性遺伝子を持つ「コシヒカリ富山 APQ1 号」の無償提供を通じて、全国で喫緊の課題である高温登熟障害の克服に品種改良の面から大きく貢献したことが評価されて受賞しました。

3 授賞式

(1) 日時 令和 8 年 3 月 21 日(土)午後

※3 月 21 日(土)～22 日(日)に行われる第 149 回講演会の 1 日目に授賞式と受賞講演が予定されている。

(2) 場所 茨城大学 水戸キャンパス (茨城県水戸市文教 2-1-1)

令和 7 年産生育・収量の状況と収量安定化に向けた次年度対策

農業技術課広域普及指導センター

1 生育・収量の状況と次年度技術対策

(1) 総点検運動調査ほの収量の特徴

- ・収量の平均は R6 が 528kg/10a、R7 が 558kg/10a であった。いずれも 520kg/10a 未満のほ場が 4 割程度みられ、ばらつきが大きい。
- ・520kg/10a 未満のほ場では、初期生育不足により穂数が不足した地点や、過剰生育により葉色が低下した地点が多くみられる。
- ・収量安定化のためには、適正生育量への誘導による穂数確保と葉色維持が重要となる。
- ・茎数及び穂数は、壤土・埴壤土は少なく、砂壤土は増加しやすい傾向がみられる。

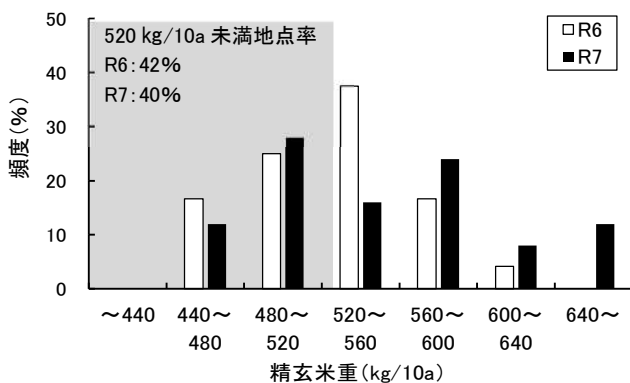


図 1 収量の分布 (R6、7 総点検運動ほ)

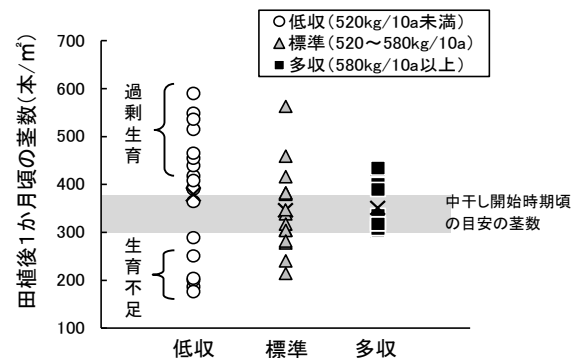


図 2 収量別の田植後 1 か月の茎数 (R6、7 総点検運動ほ)

注) × の凡例は平均値を示す

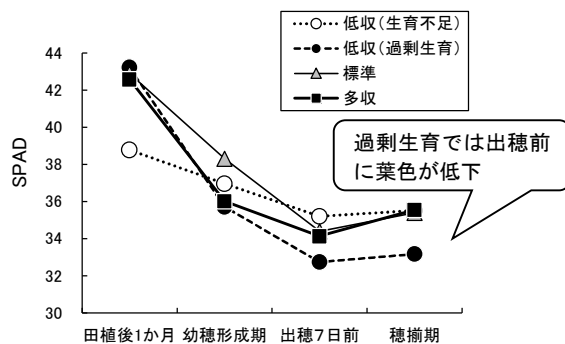


図 3 収量水準別の葉色の推移 (H29～R7 生観等)

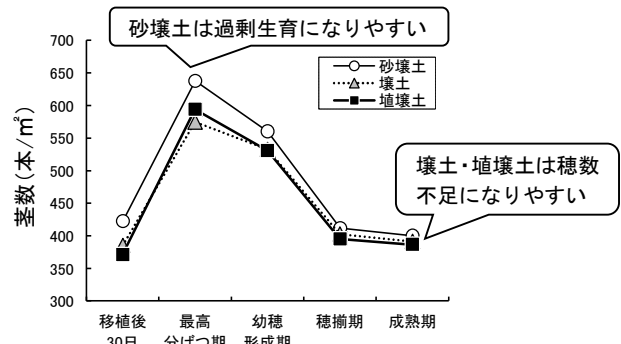


図 4 土壌別の茎数の推移 (H29～R7 生観等)

＜収量安定化に向けた土壌別の留意点＞

砂壤土、壤土（乾田）：茎数が増えやすい反面、葉色が低下しやすいため、過剰生育の防止及び適正な水管理等による葉色維持

埴壤土、半湿田：茎数が増えにくく穂数が少ないため、初期茎数を確実に確保

(2) 令和 8 年度の技術対策のポイント

初期茎数確保による目標穂数への誘導

- ・健苗育成（育苗日数 18～21 日、気象に応じたかん水とハウス内温度管理）
- ・適正な田植え（栽植密度 70 株/坪以上、植付深さ 3 cm、植付本数 3～4 本/株）
- ・適切な田植後の水管理（浅水管理、ワキの発生防止）

表 「富富富」の育苗計画の目安

浸種日	播種日	田植日	育苗日数
4/7頃	4/19頃	5/10	21日
4/15頃	4/25頃	5/15	20日
4/23頃	5/2頃	5/20	18日

「富富富」では「コシヒカリ」に比べて浸種期間を1～2日長くする

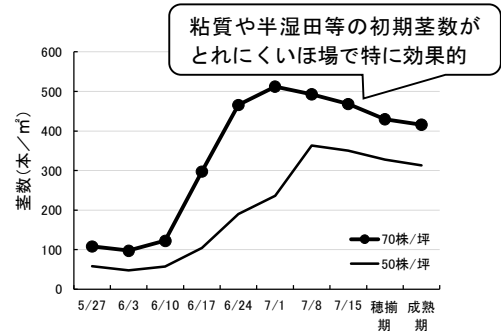


図5 栽植密度が茎数・穂数に及ぼす影響 (R7 高岡農林振興センター)

過剰生育の防止及び適正な水管理等による葉色維持

- ・ 施肥量は適正量を遵守
- ・ 無効分げつの抑制と根の生育促進のため、田植後4週間までに中干しを確実に開始
- ・ 幼穂形成期～出穂期の飽水管理等、高温時は干し過ぎない水管理を徹底
- ・ 出穂前の葉色が薄い場合の追加穂肥の施用

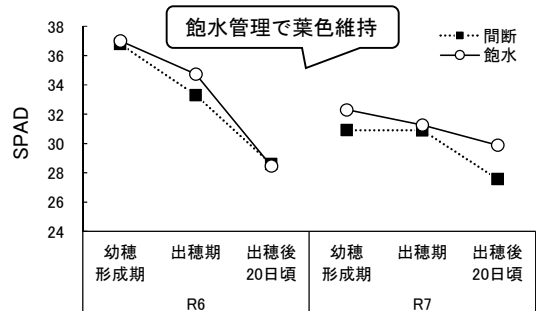


図6 幼穂形成期～出穂期の水管理が葉色に及ぼす影響 (R6、7 農業研究所)

2 令和7年度「富富富」作付ほ場の土壌分析結果及び土づくりによる収量安定化対策

(1) 結果の概要

- ・ 全体的に土壌 pH の低下、ケイ酸・加里・鉄分の不足、腐植含量の低下がみられる
- ・ 近年発生が多くなっているごま葉枯病は、ケイ酸や鉄の不足ほ場、砂壤土や腐植含量が少ないほ場で発生が多い傾向である。
- ・ 「富富富」においても高温条件下では収量不足や白未熟粒が発生しているほ場がみられることから、積極的な土づくりが重要である。

(2) 土づくりによる収量安定化対策

腐植含量及び保肥力の向上：有機物（牛ふん堆肥、地力増進作物）の施用

腐植酸やゼオライト等を含む土壌改良資材の施用

不足養分の補給：ケイ酸・加里・鉄を含む資材、加里を含む堆肥（牛ふん、発酵鶏ふん）の施用
 水稻・大豆・大麦の作付時の加里施用

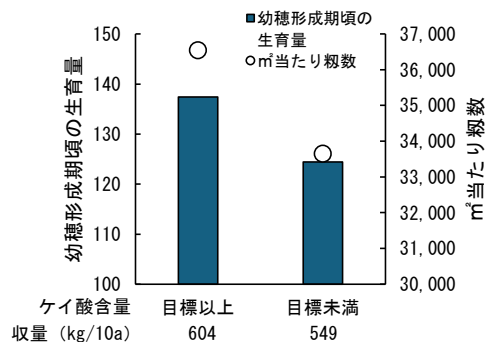


図7 有効態ケイ酸含有量が幼穂形成期の生育量及び精玄米重等に及ぼす影響 (R7 生観等)

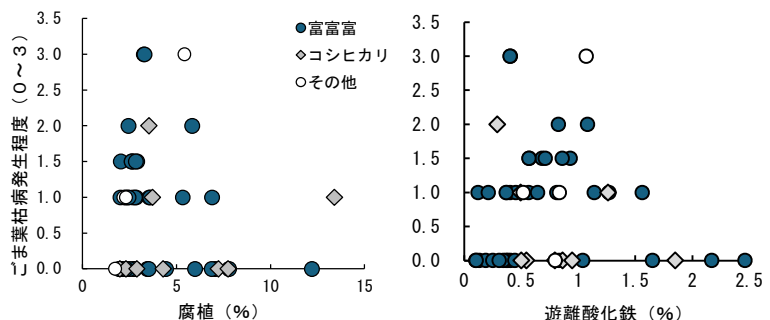


図8 腐植及び遊離酸化鉄含量とごま葉枯病発生程度の関係 (R7 生観等)

注) ごま葉枯病発生程度 0：止葉病斑なし 1：止葉に1～2の病斑
 2：止葉に2～10の病斑 3：止葉にかなりの病斑

今後の「富富富」戦略推進会議等 実施スケジュール

予定	内 容	(前年実績)
令和8年 3月11日(水)	戦略推進会議(R7産生産販売状況、R8産登録状況) ※書面開催	
8月上旬	戦略推進会議(生産者募集、販売PR計画)	令和7年8月5日
10月上旬	生産者募集開始	令和7年10月1日
令和9年 1月中下旬	登録部会	令和8年1月21日
1月下旬	富山米・富富富生産推進大会	令和8年1月28日
2月下旬	戦略推進会議(R8産生産販売状況、R9産登録状況)	令和8年2月24日